

目標達成計画

作成日: 平成 28年 10月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	忙しい時やふとした時に、入居者の方々への接し方・言葉遣いに慣れ合いがみられ、不適切な時がある。	いかなる時でも常に、入居者の方々はおお客様である事を自覚し、介護職としてのプロ意識を念頭に置いて業務にあたる。	忙しい時や、モチベーションが下がっている時には、職員間で助け合い、業務にゆとりをつくる。又、不適切な接し方・言葉遣いがみられた際には、職員間で指摘し合う。	12ヶ月
2	50	一日の流れがパターン化してしまい、又、業務に追われ、レクリエーションが十分に出来ない。	レクリエーション時間の確保及び充実を図る。	パターン化してしまっている一日の流れにとらわれず、職員間で連携し、又、工夫してゆとりあるレクリエーションを提供する。	12ヶ月
3	51	室内にいる事が多く、外に出る事が少ない。	外に出る機会を増やす。	散歩やドライブを増やす。	12ヶ月
4	50	レクリエーションの固定化。	今現在しているレクリエーションとは別に、他のレクリエーションも増やす。	職員一人ひとりがレクリエーションを考え、レクリエーションの幅を広げる。	12ヶ月